



松本さんが入所されていたころから、代々行われている幼児さんのページェント

感謝

水上の友

発行 社会福祉法人
大阪水上隣保館
 〒618-0001
 大阪府三島郡島本町
 山崎5丁目3-18
 発行人 黒川 芳 朝
 編集 広報委員会
 法人事務局 075-961-0711
 F A X 075-961-1144
<http://www.osakasuijyorinpokan.com/>
 印刷所 (有)木村桂文社

遙学園で培った強さ

松本 崇志

私は四歳の時に、二歳の妹と一緒に遙学園に生まれました。それまでは夜は兄妹二人きり、父が母を殴り、止めに入っただけ自分もしばかれるという日常でした。母は、まだ子どもの私たちに「死んでもいいか?」と聞いてきたことを今でも覚えています。

ある日、両親が「ドライブに行こう」と私達を誘いました。しかし、幼いながらも、これが最後になるのではという不安がありました。途中で寄ったレストランで、お皿を落としたりして時間稼ぎをしたのですが、効果はなくドライブが再開。山道を登った先の遙学園に到着しました。

入所した日に、初めてお祈りを見ました。皆が目を瞑って何かブツブツ言っていて、キョロキョロしている、当時の保母さんから「お祈りの時間ですよ」と頭を叩かれました(笑)。

七歳の頃にストレス性の胃潰瘍で入院したこともあり、日頃笑うことが少なかった私を心配した当時の担

二〇一三年標語
**愛と平和の神があなたがたと
 共にいてくださいます。**
 ―ロジントの信徒への手紙 一三章一節―

当が、思い切り横腹をくすぶり笑わせました。笑い転げた後お腹の調子も収まり、このことをきっかけに、後ろ向きではなく前を向く強さを身に着けなると、また身体を壊してしまつと考えるようになっていきました。

中学生の頃には、施設や大人が決めたルールに反発して施設を飛び出し、一週間ほど逃走生活を送ったこともありました。結局、先生に見つかり連れ戻されました。硬い地面で寝続け風呂にも入れず、食事も十分でなかった一週間を経て、施設での当たり前の生活の有難さに気付く機会になりました。

当時の遙学園では、中学卒業後に高校に進学できなければ、施設を出なくてはならず、いざその年齢になると、気持ち揺らぎました。そんな不安を抱えつつも必死に勉強し、高校に無事合格することができました。

高校時代の生活の中心は、ガソリンスタンドでのアルバイト。車やバイクに触れる中で、君たちは乗ってはいけないという理屈に納得しきれず、何とか許可して貰い、バイクを購入し乗り回していた三年間でした。

高校卒業後は、新聞奨学生として、専門学校の寮に入寮し、新聞配達をしながら夜間部に通い始めましたが、学費が足りず退学しました。寮も出なければならず、故北條園長に保証人になってもらい、無事に契約できた時には本

当に安心しました。

その後、様々な職業につき、電気が止められる程お金に困ったこともあり、三十一歳の時に、不動産会社に入社しました。周囲よりも遅めの入社でしたが、営業力には自信もあり、店で一番の売上げをあげました。

この会社で様々な知識や経験を重ね、三十八歳で独立し、不動産関係の事業を立上げました。四十歳の頃には会社を軌道に乗せるという目標も概ね達成でき、何事も強く願えば実現するという人生が送れています。

こうした向上心とハングリー精神を強く持つことができるのも、遙学園での生活があったからだと振り返ることが出来ます。

なお一緒に遙に入所した妹も、今では母となり子育てを頑張っています。
 (遙学園 一九九五年卒園)

クリスマス おめでとうございます

悪に負けることなく、善をもって悪に勝ちなさい。

―ローマの信徒への手紙 一二章二節―

靈感商法や特殊詐欺の被害に遭われる方が後を絶ちません。今後、も巧妙な手口で罠を仕掛けてくる可能性ががあります。ご注意下さい。

社会福祉法人 大阪水上隣保館

音楽療法を導入

障害者自立支援拠点レモンテラス

二〇二二年六月一日、皆様のご支援を受け、レモンテラスは開所しました。新しい場所、建物になり、うまく順応できるかどうかとても心配していましたが、そんな職員たちの心配をよそに、利用者さんたちは新しい発見の連続に、意気揚々です。

子どもたちは畑の水やり、そして収穫を楽しみました。また、植栽につく蝶の幼虫、飛来するトンボなど自然とふれあいながら過ごしています。

成人の方は最初お一人の利用から始まり、寂しいかなと思いきや、職員が手厚く関われるためご満悦です。朝の体操から始まり、手先の機能訓練やストレッチなど体の機能回復に取り組んでいます。現在ではできることも増え、施設内の清掃にも取り組んでいます。

最近、音楽療法を始めました。日本センチュリー交響楽団の有志の方々から、当施設の利用者たちと音楽を通してふれあいたいとお申し出がありました。十月十二日の第一回目には、四名の楽団員と約十名の利用者が参加しました。それぞれこちらが用意したタンバリンやカスタネット、太鼓、マラカスなど思い思いにならしていきます。表現方法もバラバラですが、さすがプロです。利用者の演奏？にバイオリン、クラリネット、トロンボーンで合わせ、

即席の演奏会になりました。音楽を通して自由に表現し、それを受け取る、そんな時間になりました。

発起人の音楽療法士でもある小川さん(ヴァイオリニスト)は「みなさんとても楽しそうに過ごしてくれたので、ホッとしています。少しずつでも音楽を通して空間と時間に慣れてくれて、そこにコミュニティを築き、みんなの素敵な魅力、好きなこと、得意なことを見つけてそれが発展できるようにがんばりたい」と話されていました。

利用者はそれぞれ様々な障害を抱えて生活しています。うまく言葉にできないことも多いですが、日々様々なことを感じ、成長し、表情、行動等によっても思いを発信しています。そういった思いをしっかりと周囲の人たちに伝え、また受け取ってもらえるそんな支援を展開していきます。

(施設長 大島弘之)



大阪水上隣保館の宝物

私にできることは何？

枚方にお住まいの小学五年生の石田知巳(いしだつぐみ)さんが、乳児院に寄付をしてくださいました。

知巳さんは、里親や乳児院に興味を持ち「私にできることは何？」と考えられ、英語教室の先生にも相談し、ご自身で描かれた絵でカレンダーを制作販売し、購入者の方に『おれい』というメッセージを同封されました。

そこには「大阪水上隣保館の乳児院に寄付をします。なぜなら、里親を必要としている子どもたちが生活しているからです。色々な事情で家族と一緒に生活できない子どもたちの事情を知って、応援しようと思いました」と書かれてありました。

八月の終わりに、一万八千三百円を送ってきてくださいました。知巳さんの温かい思いに感謝し、大切に使用させていただきます。

(乳児院院長 丸谷邦江)



社会福祉法人 大阪水上隣保館

理事長	元大阪府教育長 (学)山崎学園理事長	黒川 朝
常務理事	児童養護施設逡学園 施設長	村井 徹
理事	衣目公慶会計士事務所 所長	衣目 修
同	元弥栄の郷施設長	延原 正海
同	元島本町民生部長	岩村 一彦
同	元大阪府契約局長	水村 行彦
同	元島本町主任児童委員	川淵 敬子
同	特養老人ホーム弥栄の郷施設長 チヤブアブ(レシ)	杉本 美由紀
同	元(株)大和銀行現(株)りそな銀行事務部長代理	村田 和彦
同	元山崎幼稚園長	吉田 美代子
同	福祉哲学研究所 所長	秋山 智久
同	流通科学大学名誉教授	加藤 曜子
同	(株)花外楼 女将	徳光 正子
同	サントリーヒズリックス 山崎蒸溜所工場長	藤井 敬久
同	同志社大学名誉教授	山田 裕子
同	大津福音教会 牧師	上田 恵美子
同	洋画 家	加田 哲二
同	臨床心理士	濱口 美雪
同	島本キリスト福音教会 牧師	藤田 啓文
同	島本町教育センター 所長 (社)福武田塾 理事長	掘田 守人
同		山幸 雄

事務局長	竹崎 博幸
主任施設長	濱口 京子
副施設長	幸嶋 成幸
主任	村井 徹
児童養護施設逡学園施設長	土井 聡子
児童養護施設翼施設長	高井 史子
児童心理治療施設ひびき施設長	丸山 邦江
大阪水上隣保館乳児院長	杉本 美由紀
特別養護老人ホーム弥栄の郷施設長	山崎 深
山崎 保育園 園長	山崎 弘美
認定こども園藤の里保育園 園長	久野 弘
レモンテラス施設長	安原 千香子
大阪保育福祉専門学校 校長	飯田 享子
附属診療所さくらクリニック 院長	藤田 輝子
さくら 館 長	
学校法人 山崎 学園 長	大森 弘子

みんなの広場



カット絵・女子四人組

きょうりゆうになれますように。

小一 女子

先生、時間を勝手にきめないで！

小二 男子

みんなでまた、ユニバに行きたい。

小四 女子

けん玉でギネス

小五 男子

僕の将来の夢は、けん玉でギネスにのることです。なぜなら、ちよっとずつ自己ベストを更新することが楽しいからです。これからもれんしゅうをかさねて、もしかめ(けん玉の技のひとつ)八時間に挑戦します。

僕の得意なこと

小六 男子

僕の得意なことは縄跳びです。理由がいくつかあります。一つ目は、跳ぶのが楽しいからです。跳んでいるときに本当に楽しいのです。いやなことが身体から出ていく気がして、楽になるからです。

二つ目は「達成感」「自己ベスト」

です。跳んでいるうちに、前の記録を新しくぬり変えれば、自分の中の達成感が生まれたり、自己ベスト更新したり、色々心の中で、嬉しいことが芽生えるからです。

これからももっと練習し、自分の自己ベストをいっぱいぬりかえたいです。



▼「先生たちからの支え」を読み、遙学園卒園後も親身になって相談のつてくれる先生方の姿に、感動を覚えま(名古屋市 安形邦男)

▼いつも心にひびく記事に接し、暗いニュースが多い昨今。気持ちを新たに祈っています。(枚方市 山根納・絹代)

▼ゆかちゃん、退所後いろいろな苦労があったけど、先生方の支えでがんばって乗り越えてこられたんですね。そういった子どもたちを応援したくて「水青会」に寄付いたします。(島本町 中嶋明美)

▼いつも紙上から希望が立ち上ってきて、あたたかいものに満たされます。必要な方に居場所が保証される幸せはスタッフご一同様の献身なくてはありませぬ。(神戸市 杉野元子)

▼初めて老齢年金を受け取りました。ほんの気持ちですが、皆様のお役にたてば幸いです。コロナ感染対策をとりのつこの毎日、どれほどのご苦労かお頭が下がります。どうぞみなさん、お元気で過ごしてくださいませ。(岩国市 清水田佳利)

▼「値上げ希望」おやつ代二倍は無理でも、暑い夏休み、アイスとか増えたらいいね。(豊中市 飯田富美子)

▼つらくて、希望をなくした時に、相談できる人や支えてくれる人が身近にいてるといふことの大切さを友香さんのお話からしみじみと感じました。(島本町 齋藤悦子)

▼コロナ禍の中を皆様が細心の注意とご尽力で、日常生活をしっかりと保持され、いつも敬服しています。水青会共葬墓地は心に深く染み渡りました。安心して神様の下に、遙、八重子先生の下に帰天されたのでしようね。(向日市 稲本智)

▼事情が許せばまた、いつものように皆さんをヨットセーリングにお誘いさせて頂きます。水上の友を読んで、たくさんの子ともさんたちが、園で暮らしたおかげで救われていることを痛感しています。(京都府 萬木寛次)

▼「先生の老後をみてあげるから」のコメントかわいいですね。子どもながらにお世話になっている実感もあるのと、恩返ししたい、という思いが伝わってきますね。子どもたちの未来が明るいものになるように、影ながら祈っております。(東京都 渡辺好子)

訃報

河原崎幸子

(二〇二二年七月十四日召天)

賛助者・元割烹「大番」女将

長年に渡り、当館のために多大なるお力添えをいただきました。

(ごころよりの感謝し、御霊の上に神様からの祝福が豊かにありますように、お祈り致します。)

児童養護施設 遙 学 園

里 帰 り

遙学園では毎年、二十歳未満の卒園生たちの里帰りの企画があります。

しかし、ここ三年ほどはコロナの影響もあり実施できていませんでしたが、今年は久しぶりに男子の日、女子の日と二日に分けて開催しました。

男の子たちは島本第二中学校のグラウンドを借りて野球。女の子たちは同じ中学校の体育館を借りてバレーボール。いずれも、在園生対卒園生といった試合をしたり、混合で行ったり、職員も参加し良い汗を流しました。それぞれ身体を動かした後は、夕食会に移動し、近況を聞きながら昔話に花を咲かせました。

卒園生たちは「あのルール嫌やったわ」といった話や「実は、あの時のお菓子万引きしたやつやってん」などのカミングアウトのような話も出てきましたが、穏やかな表情で話していました。Aくんは大人の前では寡黙な子でしたが、久しぶりの再会では、退所後の生活を色々と話してくれる青年になっていました。

Bくんは兄と一緒に参加してくれていました。本当に本当にやんちゃだったBくんも、今の仕事について三年目だと報告してくれていました。職員が

「何か嫌なことがあっても昔のように暴れたらあかんで」と言うところ「わかっているって」と答えています。

Cちゃんは、しんどい状況がある中、参加してくれましたが、みんなに会えて変わらず冗談を言い合える仲であることが確認できたようで「無理してでも来てよかった」と、帰りの道に何度も言うてくれていました。

里帰りの企画には、退所した子どもたちだけでなく、旧職員にも声をかけており、参加してくれた旧職員たちも、子どもたちが退所後も遅く過ごしていることや、苦労しながらも明るく振る舞っている姿などを見て、成長や頑張りをヒシヒシと感じてくれていたようで、別れ際に熱い握手を交わしている姿も見られました。

健康的に汗をかき、夕食を一緒にかこみ、昔話に花を咲かせた里帰りとなりました。

(副園長 濱口京子)



児童養護施設 翼 (つばさ)

素 敵 な 一 日

なぎさホーム(女子ホーム)の自治会で子どもたちと話し合い、お祭りを開催することに決めました。

出店、分担、景品と子どもたちのアイデアが形になっていく時は心もワクワクします。しかし、一筋縄ではいきません。飾りが上手くできず引きちぎるAちゃん、ボスター制作が思い通りできず暴れるBちゃん、何もやらないCちゃん、そのことが許せないDちゃん。トラブルは毎日起こり、私は楽しいことをしているはずなのになんでもなるのだからと頭を抱え、やらなかつたらよかったと心の中で呟いています。

時間はあっという間に過ぎ、お祭り当日になりました。部屋の飾りつけやゲームの設置などの最終の準備は奇的に順調でした。お祭りが始まると、次から次へとお客さんがやってきて、最終的には翼のほとんどの子どもと大人が来店し、お祭りは大盛況でした。

いつもは泣くか抱っここのAちゃんも「次何したらいい？」と頼もしい店員さんに大変身。怒りんぼのBちゃんもかき氷が床にこぼれているのを見つけて雑巾でササッと拭く気の利く優しい店員さんになっていました。私は、

賑わう様子と忙しく店番をする子どもたちを見て、マスクの下は自然と笑顔になっていました。

夕食は焼きそばやたこ焼きなどの屋台メニュー。プロジェクトで花火の映像を見ながら、みんなご機嫌に最後までお祭り気分を味わいました。

お祭りを通して、子どもの成長や頑張りを肌で感じる事ができました。私はこの日のみんなの笑顔や子どもたちと感じた達成感をずっと忘れなれないと思います。また、この思い出が私の活力になるのだと感じました。

それぞれの子どもたちの、『何か』が少し変わり成長した日であったと思います。それは、少しの優しさや協調性、発信力かもしれません。何もしなければただの暑い一日。そんな一日をこんな素敵なお祭りしてくれた子どもたちには感謝の気持ちでいっぱいです。

(児童指導員 澤田佳奈)



児童心理治療施設

ひびき

「頑張りの」ものやつ

私は、ひびきに入職（女子フロア勤務）して九年目となります。

入職して間もない頃のことです。小学生のAちゃんは学校から帰ってくるなり、「先生、見て！」と、算数のテストを見せてくれました。点数は半分以上より少し下の四十五点。Aちゃんは私の「コメントを待っている様子です。私は、この四十五点がAちゃんにとって、良いのか悪いのかわからず、「へえ、そうなんだ」としか返せませんでした。私の反応がつまらなかつたのか、Aちゃんは次に、先輩職員にも同じように見せます。すると、先輩職員は、「ええ！すごいやんか。頑張ったんやなあ」と返していました。そのように褒められ、Aちゃんは満足したのか、上機嫌で宿題を始めました。

私は、なんだかAちゃんに申し訳なさを感じると同時に、目の前のAちゃんを、無意識のうちに「よける誰か」と比べてしまったことを恥ずかしく感じました。

テストで何点取れたか、出来栄えが大事なのではなく、Aちゃんが頑張った取組んできたこと自体をしっかりと見てあげる必要があったんだと思います。この出来事のおかげで、私は子

どもの頑張りについての考え方が大きく変わったように思います。

昨年の小学校の運動会。私はBちゃんの団体演技を楽しみにしていました。少しでも近くで観たいと思い、どの位置で踊るのか知りたかつたのですが、Bちゃんは踊りに自信がないのか、ちっとも教えてくれません。それならばと私はこっそり集合場所から目線で追いつ、演技中のBちゃんを発見しました。Bちゃんは終始、下を向きながら、やや縮こまって踊っていました。

それでも私は、終了後、自信満々に「Bちゃん、凄く一生懸命踊ってたなあ」と声をかけました。Bちゃんは少し恥ずかしそうにしながらも、笑顔を返してくれました。

私はこれからも、子どもよりも自信たつぷりに「頑張れていること」を伝えていきたいです。

（セラピスト 上塚達也）



乳 児 院

みんなのお姉ちゃん

もう少しで三歳になるTちゃん。お友達が困っていると「どうしたん」と声をかけたり、「一緒に行こうか」と遊びに誘ってくれたりします。時には「これしたらあかんぞ」と注意もしてくれれます。まだまだお友達と玩具の取り合いや喧嘩もたくさんするけど、みんなTちゃんのことを大好きで、やさしいお姉ちゃんだと思っています。

（保育士 尾形有紀）

神対応？

今月で十ヶ月になったRちゃん。成長発達が目覚ましく、四つ這い、お座り、つかまり立ちができるようになりました。担当との愛着関係もでき、人見知りもするようになりました。四つ這いがやっと出来るようになったそんなある日、偶然に担当職員と、他のホームの職員と一緒に「おいでー」と手を伸ばして声をかけました。なんとRちゃん、二人の間にハイハイをしてきて、同時に大人の手を触ってくれたのでした。「なんて優しい」と心がほっこりした瞬間でした。（保育士 高橋新一）

♥ 姉弟

同じホームにいる姉弟のAちゃんとY君。好きなことが似ているのか、隣

に並んで座って遊んでいたりと、テレビの前でダンスを踊っていたり、おもちゃを取り合っていたり、真剣に何かを見つめています。気が付けば、シンクロナイズしていて、本当に仲無睦まじく、微笑ましい二人です。

（保育士 濱田理知佳）

♥ CMはいりません

ホームでは夕食後にテレビを見て過ごすことがあります。各ホームにテレビがあり、録画した乳児番組や動画を楽しんでいます。NHK以外のチャンネルの録画ではCMが入っていて、それがどうしても嫌だと言うM君。指をさして「あっ」「あっ」と教えてくれます。職員がCMを飛ばすまで叫んでいます。「広告とばさせていただきます」と返事しながら、早送りをすると、やっと笑顔になるM君です。

（看護師 藤田直子）



特別養護老人ホーム
弥栄の郷 (やえのさと)



苦しかった隔離生活

八月初めより施設内で新型コロナウイルス感染者が徐々に増え、在宅サービス(ショートステイ、デイサービス事業)を一か月間休止しなければならぬ状況となりました。

感染を防ぐために入居者は基本的に居室から出ない隔離生活が始まり、介護者も居室に入る際には、予防着とフェイスガード、マスク、使い捨て手袋を付けて関わり、汗だくで介護をする日々でした。

一か月経過後、感染者も収まっていつもの日常に戻りましたが今後同様のことがないように、食事の際など出来るだけ対面にならないような環境整備に努めて事業の再開をしています。

(リーダー 明石信太郎)

障害者自立支援拠点
レモンテラス



やったー ぼくでできたよ!

六月一日にみゆき園からレモンテラスに名称変更し、移転開設しました。今回はその中の一つである児童発達支援の一コマをご紹介します。

この事業は主に発達の課題がある未就学児が利用されています。九月のテーマはサーキットトレーニング。運動機能の強化に取り組みます。

「レモン島へ行こう!」と題し、トンネルくぐりや平均台、ゆりかご運動等に取り組み、ゴールを目指します。手足にぎゅっと力を入れてバランスをとろうとする真剣な表情。昨日はできなかったことも今日は達成できて「やったー」のハイタッチ。

日々成長する様子に自然と笑顔になります。

(支援員 谷葉子)

大阪保育福祉専門学校



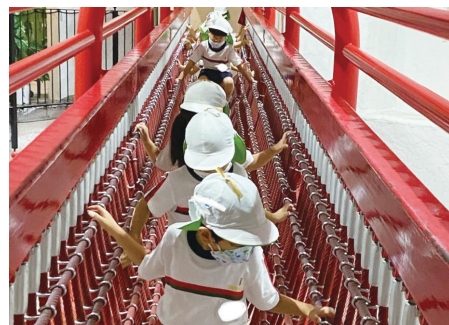
HOSENFESTAは 学びの集大成

「HOSENFESTA」は、毎年十一月末に開催している山崎保育園とのコラボイベントです。実習をすべて終了した二年生が、子どもたちにめいっばい楽しんでもらえるよう、劇や手遊び、遊びコーナーなどの準備を二か月かけて準備し実施しています。

かつての桜バザーと同時開催「HOSENFESTA子育てスクール」に比べると、来園児の数やイベントの規模は小さくなりますが、二年間の学びを経て、間もなく現場に巣立っていく学生たちの手作りの感満載のイベント。教員にとっでは、保育園の生活発表会で子どもたちを見守る保育者そのものになったかのように、ハラハラ・ドキドキの日です。

(副校長 植田彌生)

山崎幼稚園



キッズプラザデーキャンプ

七月二十日は、年長組のみなが心待ちにしていたデイキャンプでした。日中はキッズプラザ大阪へ行き、室内にある大きなアスレチックや五階から三階まで繋がる長いすべり台などがあり、伸び伸びと身体を動かして遊ぶ姿が見られました。

夜には、園に戻って教職員扮するピエロがサーカス団を率いて、素敵なショーを見せてくれました。

子どもたちは夜の幼稚園という特別感の中、キャンプファイヤーを囲みながら、ピエロたちと一緒に、歌ったり踊ったり楽しんでいました。

朝から夜まで子どもたちの目がキラキラと輝き、充実した一日となりました。

(教諭 神田菜月)

山崎保育園



積み木、七変化！

うさぎホーム(三・四・五歳児混合クラス)では、積み木遊びが大ブーム。積み木といっても三角形や円柱などの形があるわけではなく、同じ形の四角い積み木をたくさん使って、並べたり、積み重ねたりして自由に遊んでいます。その日見たものと一緒に遊んでいる友だちによって作るものがどんどん変化。

「東京タワーできた」という声が聞こえてくると、「こっちはスカイツリーやで」また他方からは「線路作ったよ」の声があると「繋げて街にしようや」と今度は共同製作に。イメージを伝え合い、あそびの世界を広げるきっかけになっています。明日は誰と何を作ろうかな？

(保育士 池田真史)

認定こども園 藤の里保育園



「指絵の具」遊びをしたよ

私の担任しているうさぎ組(一歳児)で感触遊びをしました。筆を使わず直接、手や指に絵の具をつけて、塗ったり擦ったりして使う、指絵の具を用意し、子どもたちの前に出してみると「何だろう?」といった表情で周りに集まってきました。

すぐに、絵の具を触りだす子、少し遠くから様子をつかがう子など、反応も様々です。少しずつ面白さに気づいてくると、ぬるぬる感や冷たい感触を確かめるように、紙の上で手を動かしてみたり、手についた絵の具を自分の腕に塗り付けたりする子もいました。次回は、楽しみ方を知った子どもたちももっと派手に遊んでくれそうです。

(保育教諭 林亜紀子)

ファミリーポートサプリー村野



子育て支援は妊娠期から

広場さぶりは乳幼児だけでなく、妊婦さんも支援の対象に考えています。出産までに、妊娠期から広場を知ってもらうことで、赤ちゃんとの生活が実感でき、産後の孤立した子育てを予防し、枚方市の子育て支援をうまく活用しながら育児をスムーズにスタートさせる効果があります。

赤ちゃんが生まれたら、低月齢の赤ちゃんが集まるプログラムに参加し、他の親子と交流しながら子育てについて情報交換します。そうすることで、「困っているのは自分だけじゃない」ということに気がつき、育児のしんどさや喜びを共感できる仲間に出会え、子育てに前向きになれる様子がうかがえます。

(支援員 本城理恵)

ファミリーポートたかつき



親子ヨガでリラックス

ファミリーポートたかつきでは、毎月一回三十分間、ヨガインストラクターの先生を迎え、乳幼児と保護者のヨガでリラックスできる時間を設けています。保護者と子どもたちが触れ合ったり、体を動かしながら、先生の真似をします。『耳を横に引っ張ってミッキーさん』では子どもたちの耳は柔らかいが大人の耳は緊張やストレスで硬く、刺激を続けると大人の耳も柔らかくなるのが実感できます。

講座が終わる頃には「気持ち良かった」「すっきりした」という声が聞かれるので嬉しいです。これからも楽しい講座を企画し、親子が笑顔で過ごせる場づくりを目指していきたいです。

(スタッフ 水野眞理)

社会福祉法人 大阪水上隣保館 [児童福祉 91年]

大阪保育福祉専門学校

〒618-0001 大阪府三島郡島本町山崎5-3-10 TEL.075-962-1115 FAX.075-962-9001

お問い合わせ・お申し込みは



▶お電話で

0120-919-294

クイック フクシ

▶メールで

pub@o-hosen.ac.jp

▶ケータイからもOK!

▶QRコードで

ケータイサイトから



山崎幼稚園



専門学校・本館・オリーブ館



専門学校・中村記念館



児童養護施設 遙学園



児童養護施設 翼 (豊中市)



児童心理治療施設 ひびき



山崎保育園



ばんだのいえ (島本町)



レモンテラス (島本町)



さくら館



認定こども園 藤の里保育園 (高槻市)



ファミリーポートたかつき (高槻市)

緑豊かな丘陵部に
創設者の思いがつながる
子どもと専門学校・高齢者の施設が立ち並んでいます

法人敷地内に、
大阪と京都の府境界があり、
建物によっては
大阪府だったり京都府だったり。
大阪からも京都からも
とても便利なところで！

シード館
みゆーず (分教室)

小羊保育園
(施設内保育)

大阪水上隣保館
乳児院

児童養護施設
遙学園

児童心理治療施設
ひびき

地域交流センター・
ゆりの礼拝堂

特別養護老人ホーム・
デイサービス 弥栄の郷

創設者記念の家
[さくら館]

大阪保育福祉専門学校
[中村記念館]

山崎幼稚園

大阪保育福祉専門学校
[本館・オリーブ館]

山崎保育園

JR山崎駅

阪急大山崎駅

大阪水上隣保館附属診療所
さくらクリニック (島本町)

子ども家庭支援センター・
ファミリーポートひらかた (枚方市)

ファミリーポートサブリ村野
(枚方市)



大阪水上隣保館乳児院



地域交流センター・ゆりの礼拝堂



特別養護老人ホーム 弥栄の郷



大阪水上隣保館附属診療所 さくらクリニック (島本町)



子ども家庭支援センター・ファミリーポートひらかた (枚方市)



ファミリーポートサブリ村野 (枚方市)

豊かな自然環境の中でキリスト教の愛の精神に基づいた人格形成をします

山崎幼稚園

〒618-0001 大阪府三島郡島本町山崎5-3-1 TEL.075-961-3341 FAX.075-961-7296
ホームページ www.yamazaki-k.ed.jp